

「両国観光まちづくりグランドデザイン（中間まとめ）」に対する  
ご意見等の概要と区のお考え方について

「両国観光まちづくりグランドデザイン（中間まとめ）」の内容について、広くご意見を募集したところ、たくさんの貴重なご意見・ご提案等をお寄せいただきました。

今回いただいたご意見・ご提案の概要並びに、区のお考え方を合わせて公表すると共に、ご意見・ご提案をいただきました方々のご協力に厚くお礼申し上げます。

1 パブリックコメントの実施概要

皆様からの意見募集は、墨田区のパブリックコメント手続に係る基準に則って、下記のとおり実施しました。

(1) 公表資料

両国観光まちづくりグランドデザイン中間まとめ及び概要版

(2) 意見募集期間

平成25年3月25日（月）～4月24日（水）

(3) 意見募集の周知・公表方法

(あ) パブリックコメントの周知

- ・ 区のお知らせ（平成25年4月1日号）
- ・ 区ホームページ

(い) 公表資料の閲覧

- ・ 都市計画課窓口（庁舎9階）
- ・ 区民情報コーナー（庁舎1階）
- ・ 区ホームページ

(4) 意見提出方法

文書を郵送、ファックス、電子メール又は持参により提出

(5) 意見提出先

都市計画部都市計画課

(6) 意見募集の結果

パブリックコメント意見者数4名（意見数11件）

提出された意見の概要については以下のとおりです。

同一の内容については集約しております。

2 区民シンポジウム開催時の意見等について

平成25年4月14日（日）に区民シンポジウムを実施しました。

その際に実施したアンケートの意見等の概要については以下のとおりです。

区民シンポジウム 出席者86名 アンケート64名（意見数66件）

同一の内容については集約しております。

# 1 パブリックコメントの意見の概要

## <施策展開について>

意見等	意見に対する区の考え方
施策展開について[6件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両国公会堂の有効利用ができないか。</li> <li>・ 地元産業である繊維製品の生産現場の見学、製品の展示・即売などとおし、繊維産業のPRと地域の活性化を図れないか。</li> <li>・ 総武快速線の両国駅の停車が、観光まちづくり、賑わいの復活になる。清澄通り上に快速線のホームと駅前広場を作るための用地を確保し、各駅停車のホームを千葉よりに移し、乗換えできるようにするとともに、大江戸線の乗換口を新設してはどうか。</li> <li>・ JR沿線の駐輪場や擁壁も古びたものになっており、また、電線が上空を横断して街並みを壊している。</li> <li>・ 両国駅周辺の整備が古いままで、JR東口から出た南側の道路の歩道は、段差が大きく幅が狭く、歩行者を優先とした構造になっていない。障害者や車椅子が通れるような設備の整った歩道でもない。</li> <li>・ 両国ステーションビルの建設と、総武線、横須賀線の連携や、JRと大江戸線の共通路としての地下街を作り活用をしてはどうか。</li> </ul>	<p>今後の地域展開や具体的な事業展開については、グランドデザインを策定した後に、今回のご意見や地域資源の活用提案等を踏まえて検討いたします。</p>

## <地域展開について>

意見等	意見に対する区の考え方
地域展開について[4件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両国の位置づけやグランドデザインの特徴、地域の特性を考え、広く東京の両国、日本の両国を目指してはどうか。</li> <li>・ グランドデザインの軸のつながりは、有形資産どおしのつながりの中で、無形資産が介在しないと地域の観光とならないのではいか。</li> <li>・ 賑わい軸に、一の橋通り、国技館通り、清澄通り、三つ目通り、蔵前橋通り、北斎通り、京葉道路を入れ、それぞれの交点付近を拠点にし、交通機関乗場の入口をレイアウトしてはどうか。</li> <li>・ 賑わい軸が北斎通りから水上バス乗場になって</li> </ul>	<p>今回のグランドデザインでは、来訪者を迎える玄関口やまち歩きの手所としての「まち歩きの拠点」として、また、まち歩きの骨格となる通りを「賑わい軸」として位置づけ、まち歩きを中心とした地域展開のイメージを提示しています。両国地域には様々な資源が点在しており、今後、拠点や軸だけでなく、まち全体に賑わいがにじみ出るような仕掛けづくり、方策の検討を進めていきます。</p> <p>また、両国地域だけではなく、墨田区全域、さらには周辺区との連携も視野に入れ、回遊性</p>

<p>いるが、人の動線を考えれば、駅の南側を通ったほうが、食事やお土産なども買うことができ、にぎわうのではないか。地域の人とのふれあいを考えれば、横綱横丁なども地域展開には重要ではないか。</p>	<p>向上のための仕掛けづくりについても合わせて検討していきます。</p> <p>&lt;ご意見への対応&gt;</p> <p>P 1 2【まち歩きを中心とした地域展開】において加筆修正します。</p>
--	---

<その他について>

意見等	意見に対する区の考え方
<p>その他[1件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きなイベントを行い、人を呼び込めば観光まちづくりといえるのか疑問を感じる。</li> </ul>	<p>観光まちづくりは、地域の皆さんが両国に愛着と誇りを持ち、暮らしていてよかったと思えるまちとするために、地域の皆さんとご一緒に進めてまいります。</p> <p>また、これから観光まちづくりを進めていくためには、地域の方ひとりひとりが主人公となり、個々の取り組みを持続的に積み上げていくことが大事だと考えています。そのために、まちづくりへの多様な参加の入口を作っていくと考えています。</p>

## 2 区民シンポジウム開催時の意見等について

### <両国観光まちづくりグランドデザインの位置づけ>

意見等	意見に対する区の考え方
両国の広域的な位置づけ及び連携について[3件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>他のエリアとのつながりはどのように考えているのか。</li> <li>他区や都、国との関係はどのように考えているのか。</li> <li>水辺の活用について、他区と協調して進めていく考えはあるのか。</li> </ul>	<p>両国地域は、区内各所に留まらず、周辺区との連携も視野に入れ、回遊性向上のための仕掛けづくりについても今後検討していきます。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>&lt;ご意見への対応&gt;</b>            P11【施策テーマの地域展開】において加筆修正します。         </p>

### <コンセプトについて>

意見等	意見に対する区の考え方
「粋」について[5件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「粋」という言葉の定義は？あえて謳った意図は何か。</li> <li>自分達で「粋」というのはおかしい。</li> <li>外国からの来訪者に「粋」の意味をわかりやすく説明できる雑誌があるといい。</li> <li>「粋」という概念がまちづくりの中で具体化し、地域の人々に継承していくための取り組みをどのように考えているのか。</li> <li>心意気を見せるとはどのようなイメージか。</li> </ul>	<p>住んでいる人々が、生き生きと暮らしていることが、地域の大切な資源であり、地域の皆さんが両国地域に愛着と誇りをもち、「粋」に暮らしている姿があつてこそ、「粋」に愉しむことができると思います。</p> <p>来訪者へは、両国地域の「粋を」愉しむのではなく、両国地域を「粋に」愉しんでください、というメッセージを発信していきます。</p>
「粋」に暮らすについて[2件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「粋に暮らす」ということは地元の果たす役割が大きくなるとおもいますが、どのように合意形成を図っていくのか。</li> <li>「粋に暮らす両国」では、ワンルームマンションを規制してほしい。</li> </ul>	<p>「粋に暮らす」とは、地域の皆さんが両国に愛着と誇りを持ち、暮らしていてよかったと思えることと考えています。両国が愛着と誇りを持てるまちとなるよう、地域の皆さんと共に考え取り組んでいきます。</p> <p>なお、区では条例で一定規模以上のワンルームマンションは規制しています。</p>

<施策展開について>

意見等	意見に対する区の考え方
<p>施策テーマについて[4件]</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「両国川開き」「両国棧敷」は夏限定ではないか。</li> <li>・ 「両国棧敷」の閑散期の取り扱いについて考えているのか。</li> <li>・ 「両国棧敷」は涼を感じていい。</li> <li>・ 「川開き」「棧敷」のキーワードは素晴らしい。</li> </ul>	<p>「両国川開き」「両国博覧会」「両国棧敷」は施策展開のテーマとして設定しています。今後、このテーマに基づいて具体的な方策を展開していきます。</p>
<p>施策展開に対する提案・意見について[32件]</p> <p>1件のご提案等に複数の資源を書いていたいただいているものをまとめましたので、件数と下記の項目の数は一致していません。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光資源の活用について多数のご提案、ご意見をいただきました。              既存施設の活用              横網町公園、旧安田庭園、隅田川テラス、両国橋、東京都慰霊堂、国技館、復興記念館、吉良邸、北斎美術館              地域資源の活用              相撲、忠臣蔵、鬼平犯科帳、江戸文化、江川太郎左衛門、人情、相撲部屋の活用              イベントの提案              祭礼、祭事、花火大会、食              新たな観光資源の提案              河川沿いの賑わい、舟遊びツアー、両国七福神、着物や和装の推奨、和カフェ、防災・減災、駅南側の混沌とした空間、年間をとおしたイベントなどの賑わい、賑わいの再生、水辺などの閑散期の活用、案内板などのツール、ツーリストインフォメーション、江戸のまちの再現(街灯・ガードレール・道路模様等)、おもてなしの意識、都市型観光、資源を繋いだまち歩き、地元商店での食べ歩き、連続性・永続性のあるイベント、心意気の見せ方、年間を通じた施策展開、企業が持っている駐車場の開放、JR両国駅の開発              その他</li> <li>・ どんな活動や事業、基盤や施設の整備を具体的に構想しているのか。</li> <li>・ 一過性のものではなく、連続性、永続性のある企画はないのか。</li> </ul>	<p>両国地域の観光資源やその活用方策案等について、多数のご意見、ご提案をいただきました。今後の地域展開や具体的な事業展開については、策定後に、今回のご意見や地域資源の活用提案等を踏まえて検討していきます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;ご意見への対応&gt;</p> <p>P 9【施策テーマの地域展開】及び              P 11【施策テーマの地域展開】において              加筆修正します。</p> </div>

## <地域展開について>

意見等	意見に対する区の考え方
地域展開について[4件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道や道路により分断されている両国エリアの一体感の出し方は？</li> <li>・ まちと水辺のつながりをどう考えているのか。</li> <li>・ 東西を結ぶ交通の結節点でもあり、隅田川の支川の水運拠点になれば魅力が高まる。</li> <li>・ 水上観光ネットワークと陸の移動交通のつながりについてどのように考えているのか。</li> </ul>	<p>グランドデザインでは、来訪者を迎え入れる玄関口やまち歩きの要所としての「まち歩きの拠点」として、また、まち歩きの骨格となる通りを「賑わい軸」として位置づけ、まち歩きを中心とした地域展開のイメージを提示していますが、両国地域には様々な資源が点在しており、今後、拠点や軸だけでなく、まち全体に賑わいがにじみ出るような仕掛けづくり、方策の検討を進めていきます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>&lt;ご意見への対応&gt;</b>  P 1 2【まち歩きを中心とした地域展開】  において加筆修正します。</p> </div>

## <目標について>

意見等	意見に対する区の考え方
目標について[3件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グランドデザイン策定後のスケジュールについて長くても3年以内には一定の目標レベルを定めて行動を起こすことが大事である。</li> <li>・ 活力があるまち、集客の絶えない両国のまちの再生を望む。</li> <li>・ 策定後のスケジュールの進捗管理はどのようにするのか。</li> </ul>	<p>観光まちづくりは、短期的な視点と長期的な視点から進めていきます。その取り組みの成果を来訪者数や滞在時間といった客観的な数値を指標として評価していきたいと考えます。さらに来訪者及び地域住民の満足度も重要な指標と考えますが、その指標の客観的な数値化や到達目標、進め方については、地域の皆様のご意見を伺いながら検討していきます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>&lt;ご意見への対応&gt;</b>  P 1 5【両国観光まちづくりの到達目標】  において加筆修正します。</p> </div>

<その他について>

意見等	意見に対する区の考え方
その他[13件]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両国地域に長く住んでいる人と新しくマンションなどに住んでいる人とのギャップについてどう埋めていくのか。</li> <li>・ 新住民だけでなく、地元の二世、三世を地元に取り止めることも大事である。</li> <li>・ 人は多く集まると、住民にとってマイナスになる面もおきる。覚悟が必要である。</li> <li>・ 街が変わっていくのであればまちの歴史や地域の暮らしを活かした変わり方がよい。</li> <li>・ 両国が単なるベッドタウンにならずに、文化的な歴史を大切に維持できるまちにしてほしい。</li> <li>・ 地域の人たちの自発的な活動が必要である。</li> </ul>	<p>住んでいる人々が生き生きと暮らしていることがまちづくりの基本です。まちづくりは、皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。</p> <p>また、これから観光まちづくりを進めていくためには、昔から住んでいる人も、新しく住みはじめた人も、地域のひとりひとりが主人公となり、個々の取り組みを持続的に積み上げていくことが大事だと考えています。そのために、まちづくりへの多様な参加の入口を作りたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人や区外へのPRのためにも効果的な宣伝が必要である。</li> </ul>	<p>本グランドデザインにおいては、事業や取り組みを「粋・技・心」の視点でより魅力的に発信していくことが重要と考えます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通勤・通学で定期券の範囲で乗降できる人が多いまちである。その利点を生かすべきではないか。</li> </ul>	<p>両国地域の立地を生かした方策の検討を進めていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京葉道路の拡幅による街への影響をどのように考えるのか。</li> </ul>	<p>京葉道路は、隅田川西岸から副都心錦糸町に繋がる重要な道路です。隅田川から清澄通り付近までの沿道を賑わい軸に位置づけるとともに、賑わい軸から錦糸町につなぐ沿道をにぎわい空間へと誘導します。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>&lt;ご意見への対応&gt;</b>            P12【まち歩きを中心とした地域展開】            において加筆修正します。         </p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「すみだ北斎美術館」は目立つような位置に建設するなど、PRに努めるべきだ。</li> <li>・ 「すみだ北斎美術館」(H27開館)について運営が厳しいと聞くが、新たに作るのではなく、既存施設の活用などの方法があるのではないかと。また、良好な運営をするための方策は何か。</li> </ul>	<p>すみだ北斎美術館の建設地は、江戸時代に大名屋敷があった場所で、北斎ともゆかりの深い土地です。錦糸町と両国を結ぶ北斎通りに面した緑町公園の一角に美術館を設置することで、両国地区を中心に区内の回遊性を高める効果が期待されています。</p> <p>また、良好な美術館運営をするために、地元地域との連携や普及活動など幅広く事業を展開していきます。</p>

<p>・なぜ建設前の「すみだ北斎美術館」をグランドデザインに盛り込んでいるのか。</p>	<p>すみだ北斎美術館は、平成27年度に開館し、多くの観光客が訪れる両国観光の主要な施設になると考えています。グランドデザインは両国の観光まちづくりの将来像を示しているため、主要な観光資源として位置づけています。</p>
<p>・JR両国駅への交通アクセスとして区内循環バスがないのはどうしてか。</p>	<p>区内循環バスの運行ルートは、基本的な考え方（片方向の1周45分程度の循環ルート、主要な駅、観光エリアや公共施設等を回ること、既存の路線バスとは可能な限り重複しないこと等）及びルート案を区議会や区民の皆様にお示し、ご意見を伺いながら決定した経緯があります。</p> <p>JR両国駅周辺の観光スポットは、南部ルート停留所番号11番「都営両国駅（江戸東京博物館前）」及び12番「勝海舟生誕之地・吉良邸跡入口」からアクセスすることが可能です。</p> <p>なお、JR両国駅につきましては、総合的に検討した結果、区内循環バスの導入ができませんでした。</p>